

健康社会研究センター ニューズレター 第 2 2 号

2012. 05. 11 発行

◆ 目次 ◆

- 1 プレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ
- 4 その他お知らせ

1 プレスリリース

歯を失って義歯を使わなければ認知症のリスクが最大 1.9 倍に

～厚生省研究班が健康な高齢者 4425 名を追跡して明らかに～ (2012 年 3 月 22 日)

歯の状態と認知症発症の関連が 65 歳以上の健常者 4425 名を対象にした 4 年間の追跡調査で判明しました。郵送調査の後 4 年間にわたり認知症を伴う要介護認定を受けたか否かを追跡しました。その結果、年齢、治療疾患の有無や生活習慣などに関わらず、歯がほとんどなく義歯を使用していない人、かかりつけ歯科医院のない人は、認知症発症のリスクが高くなることが示されました。特に、歯がほとんどないのに義歯を使用していない人は、20 本以上歯が残っている人の 1.9 倍、認知症発症のリスクが高いことがわかりました。さらに、歯がほとんどなくても義歯を入れることで、認知症の発症リスクを 4 割抑制できる可能性も示されました。

詳細はこちら→ http://square.umin.ac.jp/ages/press-releases/11_009.pdf

(※当センターの都合により、掲載が遅くなりましたことを、お詫びいたします)

2 主な研究成果発表

<論文>

- ① Hanibuchi T, Murata Y, Ichida Y, Hirai H, Kawachi I and Kondo K. Place-specific constructs of social capital and their possible associations to health: A Japanese case study. *Social Science & Medicine* [Epub ahead of print] DOI: 10.1016/j.socscimed.2012.03.017
- ② Koji Wada, Naoki Kondo, Stuart Gilmore, Yukinobu Ichida, Yoshihisa Fujino, Toshihiko Satoh, Kenji Shibuya: Trends in cause specific mortality across occupations in Japanese men of working age during period of economic stagnation, 1980-2005: retrospective cohort study. *BMJ* 2012;344:e1191 (Published 06 March 2012)
- ③ Jun Aida, Katsunori Kondo, Naoki Kondo, Richard G. Watt, Aubrey Sheiham, Georgios Tsakos: Income inequality, social capital and self-rated health and dental status in older Japanese. *Social Science & Medicine* (73):1561-1568, 2011
- ④ Yamamoto T, Kondo K, Hirai H, Nakade M, Aida J, Hirata Y. Association between self-reported dental health status and onset of dementia: Aichi Gerontological Evaluation Study project 4-year prospective cohort study of older Japanese. *Psychosomatic Medicine*. 2012; 74(3): 241-248.
- ⑤ 近藤克則, 芦田登代, 平井寛, 三澤仁平, 鈴木佳代: 高齢者における所得・教育年数別の死亡・要介護認定率とその性差—AGES プロジェクト縦断研究—. *医療と社会* 22 (1) 19-30
- ⑥ 近藤尚己, 近藤克則, 横道洋司, 山縣然太郎: 高齢者における所得の相対的剥奪と死亡リスク—AGES 追跡研究—. *医療と社会* 22 (1) 91-101

<講演>

- ① 近藤克則：講演「医療の『見える化』で国民的合意形成を～医療崩壊からの再生途上にある英国に学ぶ～」
「日本の医療を守る市民の会」第45回勉強会、中野サンプラザ、2012.4.24
- ② 近藤克則：特別講演「地域医療と介護のゆくえ」、琉球大学地域医療部40周年記念シンポジウム・講演会、
沖縄県医師会館、2012.4.22
- ③ 近藤克則：今後のビジョンとその実現に向けて必要な取り組み。World Health Day 2012 記念フォーラム「健康な高齢社会を目指して～世界最長寿国日本の軌跡と今後の展望～」ラッセホール（神戸市）、2012.4.7
神戸ニュースに掲載されました→ <http://www.kobe-np.co.jp/news/shakai/0004955164.shtml>

<マスコミでのコメント>

- ① 「負担重い低所得の高齢者」中日新聞（朝刊）2012.4.5

3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

・介護予防WG（JAGES）・AGES研究会今後の予定 ※変更になることがあります。

・5月研究会

【日 時】5月12日（土）10：30～

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

・6月研究会

【日 時】6月24日（日）10：30～

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

・7月研究会

【日 時】7月1日（日）・14日 or 15日 10：30～

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

・8月研究会

【日 時】8月2日（木）・3日（金）10：30～

【場 所】日本福祉大学名古屋キャンパス

・国際シンポジウム

【日 時】8月4日（土）10：00～

【場 所】ウイंक愛知

4 その他お知らせ

① 研究助成採択について

平成24年度 科学研究費補助金（研究成果公開促進費）〈学術図書〉に「健康の社会的決定要因－疾患・状態別『健康格差』レビュー」が採択されました。

② セミナーが開催されます

2012年公衆衛生セミナー「日本における健康の社会的決定要因」

【共 催】大阪大学グローバルコラボレーションセンター

【申込先】大阪大学医学系研究科公衆衛生学教室 msc@pbhel.med.osaka-u.ac.jp 締切：7月13日（金）

【日 程】2012年7月28日（土）～30日（月）

【内 容】詳細はこちら→ <http://www.msc.med.osaka-u.ac.jp/info/event.html>

<7月28日（土）>

9:00-9:20

登録

9:20-9:40

オリエンテーション

磯博康（大阪大学）・Eric Brunner（UCL）・本庄かおり（大阪大学）

9:40-11:00

講演1「健康の社会的決定要因」

Eric Brunner（UCL）

- 11:00-11:20 休憩
11:20-13:20 講演 2 「収入格差、失業・職の不安定と健康」 福田吉治 (山口大学)
12:20-13:30 昼休憩
13:30-15:00 ワークショップ「効果的な英語プレゼンテーション」 ケーブル典子 (UCL) 他
15:00-15:20 休憩
15:20-16:20 講演 3 「地域環境と健康」 中谷友樹 (立命館)
16:30-18:30 懇親会
- <7月 29 (日)>
9:30-10:30 講演 4 「社会階層と健康」 本庄かおり (大阪大学)
10:30-11:30 講演 5 「ライフコースアプローチ」 ケーブル典子 (UCL)
11:30-13:00 昼休憩
13:00-15:30 シンポジウム 1 「グローバリゼーションとその健康影響」
思沈夫 (大阪大学) 三田 貴 (大阪大学) 白井こころ (琉球大)
座長: 磯博康 (大阪大)
15:30-16:00 休憩
16:00-17:00 講義 6 「健康影響評価 (ヘルス・インパクト・アセスメント)」
藤野善久 (産業医科大学)
- <7月 30 (月)>
9:30-10:30 講義 7 「経済行動学」 Kawachi Ichiro (ハーバード大学)
10:30-12:30 シンポジウム 2 「日本における地域・社会的サポートの力」
Kawachi Ichiro (ハーバード大学)
近藤克則 (日本福祉大学)
池田愛 (国立がんセンター)
12:30-13:30 昼休憩
13:30-14:00 ポスタープレゼンテーション
14:00-15:00 講演 8 「日本における職業と健康」 堤 明純 (北里大学)
15:00-16:00 講義 9 「日本における社会階層指標」 日吉綾子 (UCL) 本庄かおり (大阪大学)
16:00-16:20 休憩
16:20-17:20 パネルディスカッション
健康社会決定因子研究の展望と方向性: 三国間からの視点
Kawachi (ハーバード大学) 磯博康 (大阪大学) Eric Brunner (UCL)
座長: 近藤克則 (日本福祉大学)

ニューズレター第 2 2 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<k-manami@n-fukushi.ac.jp
(泉)>までお知らせください (ご連絡の際は*を@に変更して下さい)。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元: 健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)及び、『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向(2011年12月23日開催)、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」(2012年1月8日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。